

# チーフストラテジスト 瀧山裕二の Weekly Letter

## 第16回「IMF 世界経済見通し 2024年4月」

4月16日に国際通貨基金（IMF）は四半期ごとに発表している世界経済見通し（2024年4月）を発表しました。今週は、このIMFの世界経済見通しについてお伝えします。

### ～世界経済の成長率予測～

下の表をご覧ください。この表は今回の見通しを抜粋したものです。

世界経済の成長率予測は2024年が3.2%、2025年が3.2%となり、前回1月時点の予測と比べて24年が0.1%ポイント（Pt）の上方修正、25年が変わらずとなりました。

地域別では先進国・地域は24年1.7%成長、25年1.8%成長と予測、前回との比較では今年の成長率を0.2%Pt上方修正しました。この要因は後ほど触れますが、米国の経済成長予測を大幅に上方修正したことです。一方、新興市場国・開発途上国は、24年4.2%成長、25年4.2%成長と24年の成長率を0.1%Pt上方修正しましたが、25年の成長率は据え置きとなりました。不動産不況対策が進まない中国の経済成長鈍化を憂慮していると思います。

### ～主要国の経済成長予測～

国別では、米国の成長率は24年が2.7%成長、25年が1.9%成長と予測しています。前回予測から24年を0.6%Pt、25年を0.2%Ptと大幅に上方修正されました。インフレ抑制で政策金利を大きく引き上げたにもかかわらず、景気を後退させることなく緩やかな経済成長を実現していることを評価しています。引き続き経済成長の持続を想定しています。

一方、ユーロ圏については24年0.8%成長、25年1.5%成長と予測、24年で0.1%Pt、25年で0.2%Pt前回予測より下方修正しました。ドイツやフランスの24年、25年の成長率予測をそれぞれ0.3%Ptずつ引き下げたことが下方修正の要因です。ユーロ圏は景気回復の鈍化によりインフレ率が低下してきており、政策金利の引き下げがヨーロッパ中央銀行（ECB）内で検討され始めています。政策金利引き下げが実施されればユーロ圏経済の先行きに明るさが出てくると考えられます。

日本は24年0.9%成長、25年1.0%成長と予測、前回と比べ24年は変わらず、25年は0.2%Pt上方修正されました。今年の我が国の経済成長については、昨年のコロナ禍からの復活やインバウンド需要の伸びは継続するものの成長率の点では緩やかな成長になると想定しています。

中国経済は、24年4.6%成長、25年4.1%成長と前回から予測を変えていません。中国では2月の春節で消費が一時的に盛り上がりましたが、低迷している不動産部門に対する包括的な対策を打たなければ成長が鈍化する懸念もあり、成長率は据え置かれました。

インド経済は、24年6.8%成長、25年6.5%成長と国内需要の底堅さを反映し、前回と比べ24年の成長率を0.3Pt上方修正しました。

ブラジル経済については、24年2.2%成長、25年2.1%成長と予測しています。前回と比べて24年の成長を0.5%Pt、25年を0.2%Pt上方修正されています。好調な米国経済の影響を受けることを想定しているようです。

また、この見通しの中で、経済成長の下振れリスクとしてウクライナでの戦争や中東での紛争などの地政学的リスクや米・中関係など政治体制による世界の分断などによって、再び物価が急騰する可能性を上げています。さらに、5年後の世界経済成長率は3.1%と予測され、数十年ぶりの低水準になるとしています。

世界経済の行方が株式市場など金融市場の方向性を決めていくと考えています。今後も世界の潮流がどのようになるかを慎重に見極めていくことが重要であると思います。

世界経済見通し(WEO)による成長率予測 (%)			
地域・国名	2023年	2024年(予測)	2025年(予測)
世界	3.2(0.1)	3.2(0.1)	3.2(0.0)
先進国・地域	1.6(0.0)	1.7(0.2)	1.8(0.0)
米国	2.5(0.0)	2.7(0.6)	1.9(0.2)
ユーロ圏	0.4(-0.1)	0.8(-0.1)	1.5(-0.2)
日本	1.9(0.0)	0.9(0.0)	1.0(0.2)
新興市場国・発展途上国	4.3(0.2)	4.2(0.1)	4.2(0.0)
中国	5.2(0.0)	4.6(0.0)	4.1(0.0)
インド	7.8(1.1)	6.8(0.3)	6.5(0.0)
ブラジル	2.9(-0.2)	2.2(0.5)	2.1(0.2)

(注)インドについてはデータと予測が財政年度ベース(4月～翌年3月)で表示

※2024、2025年は予測値。

カッコ内は前回(2024年1月)からの改定幅 (%ポイント)

(国際通貨基金 2024年4月参照)

次回ウイークリーレター5月3日号はゴールデンウィークの為、  
お休みさせていただきます